

7. 各大学提供科目

・ 対面授業科目

対面授業			07001	
異文化理解			姜 波(キョウ ハ)	
Cross-cultured Understanding				
1～4 年次	2 単位	春学期	1 コマ	定員 15 名
<p>【授業の目的】 グローバル社会が進む中、国際協力、多国籍企業、異業種連合、多文化共生など、国内外において異なる文化、異なる価値観を理解することが大事なことになった。本講義は、欧米及びアジア諸国の文化・習慣、社会、宗教、教育などを多角的に考察し、視野を広げ、柔軟な思考力、多様性に対応できる能力を高める目的とする。また、自他を認識し、傾聴、尊重、表現ができるコミュニケーション能力を高め、人間性、社会性の成長を目指す。事例分析、ワーク、議論など学生参加型の授業を行う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 異文化理解の意義 2. 三国志と日本と中国 3. 文化の融合と進化 4. 西洋と東洋の価値観 5. 非言語コミュニケーション 6. コミュニケーションスタイル 7. コミュニケーションスキル 8. グローバル的思考 9. 単刀直入か以心伝心か 10. 世界の食文化 11. 宗教とタブー 12. 教育と創造力 13. 外国人労働者の諸問題 14. 多文化共生社会 15. 国際支援のあり方 				
<p>【テキスト】 プリント配布</p>				
<p>【参考図書】 『異文化理解の入門』原沢伊都夫 『グローバル人材の新しい教科書』ベルリッツ・ジャパン 『中国の社会とくらし』姜 波・矯 学真</p>				
<p>【成績評価の方法】 レポート 50%、ワークに参加する態度、授業の理解度など総合評価点 50%。</p>				

7. 各大学提供科目

対面授業			07002	
健康科学論			文谷 知明	
Health Sciences				
1～4 年次	2 単位	春学期	1 コマ	定員 15 名
【授業の目的】 20 歳前後の青年が、これからのおよそ 60～70 年以上を健康に過ごすためには、まず自らの身体について正しく理解し、今後どのような対策が必要なのか考え、具体的に実践していくことが求められる。身近で今日からすぐにできそうな運動習慣や食習慣を身につけ、行動に移せる力量を高めることが目標である。				
【授業内容】 1. 運動・スポーツは身体に悪いのか 2. 肥満度からヤセ型・肥満型を判定する 3. 体脂肪率からヤセ・肥満を判定する 4. 理想的なダイエット法とは 5. ウォーキングとジョギングの違いとは 6. 運動で消費するエネルギー量は 7. 暑さを克服するための水分補給 8. 無理のないダイエット法を考える 9. 部分ヤセは可能なのか 10. 身体を丈夫にするための栄養と食事 11. スタミナをつけるための栄養と食事 12. スタミナ切れしないための栄養と食事 13. 身体の柔軟性を高めるストレッチングとは 14. 運動後に起こる筋肉痛の予防と対策 15. 腰痛・肩こりに有効な運動とは				
【テキスト】 毎回プリントを配布します。				
【参考図書】 なし。				
【成績評価の方法】 [定期試験] 80% [受講態度(出席状況を含む)・その他] 20% [備考] 無断の遅刻・早退は3回で欠席1回とみなす。				

7. 各大学提供科目

対面授業科目				07003	
生命科学			福島 康弘		
Life Science					
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名	
<p>【授業の目的】 生命科学において非常に重要な分野のひとつであり、人が人らしくあるために重要な臓器である脳の機能についての包括的な理解を目的に授業をおこなう。</p>					
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脳理解の歴史 2. 脳の構成 3. 脳の働きを生み出す仕組み(1) 静止膜電位と活動電位 4. 脳の働きを生み出す仕組み(2) シナプスでの情報処理 5. 脳と感覚(1) 体性感覚 6. 脳と感覚(2) 視覚と聴覚 7. 脳と感覚(3) 嗅覚と味覚 8. 脳と運動(1) 運動情報の伝わり方 9. 脳と運動(2) 運動をなめらかにする仕組み 10. 脳の自動制御 11. 高次脳機能(1) 情動 12. 高次脳機能(2) 言語 13. 高次脳機能(3) 記憶 14. 脳の疾患 15. 脳と心 					
<p>【テキスト】 工藤 佳久「もっとよくわかる！脳神経科学」羊土社(2013)</p>					
<p>【参考図書】 宮川 博義・井上 雅司「ニューロンの生物物理 第2版」丸善出版(2013) 塚田 稔「芸術脳の科学」講談社(2015)</p>					
<p>【成績評価の方法】 [定期試験] 50% 講義内容の全般的理解を確認するため問題を提出する。 [レポート] 45% 毎回、授業の内容に関する小レポートを提出する。 [受講態度・その他] 5% 欠席・遅刻、私語等を減点の対象とする。</p>					

7. 各大学提供科目

対面授業				07004	
ヒューマンセクシャリティー論			秦 久美子		
Human Sexuality					
1～4年次	2単位	秋学期	1コマ	定員 15名	
<p>【授業の目的】 胎児期から高齢期までの健康問題について多角的な視点から捉え、その背景にある社会状況を踏まえつつ、問題解決に向けたアプローチ、自分の担える役割について考察する。</p>					
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス ヒューマンセクシャリティー論を学ぶ視点 2. 知っておこう 相手の身体・性 男編 3. 知っておこう 相手の身体・性 女編 リプロダクティブヘルス 4. 人の多様性 5. 文化とジェンダー・セクシャリティー 6. 幼児期の性 7. 思春期、性同一性 8. 性犯罪 9. 増え続ける HIV 感染症を考える 10. 更年期の性、疾患発症の性差 11. 高齢期の性 12. 居宅における高齢者の性 13. 障害者の性 14. 高齢者福祉施設における高齢者の性 15. 現代社会がかかえる「性」の課題 					
<p>【テキスト】 なし</p>					
<p>【参考図書】 講義の中で紹介</p>					
<p>【成績評価の方法】 定期試験:80% 受講態度(出席状況を含む)・その他:20%(毎回ミニリアクションペーパーを課します) 評価方法コメント:積極的に学ぶ姿勢で受講する。受講マナーが悪い場合には、退室させる場合もある。20分以上の遅刻、20分以上の離席は欠席とします。</p>					

7. 各大学提供科目

対面授業				07005	
健康と音楽			田中 順子		
Health and Music					
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名	
<p>【授業の目的】 音楽療法の基礎と各分野での音楽療法について知識を深め、さらに、自分が進む分野での応用を考えることができる。また、実際の音楽体験を通して音楽の持つ力を感じ、人と音楽と健康との関係と影響を考えることができる。</p>					
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. これまでの音楽療法 2. 健康と音楽の関係をめぐって –「ミュージッキング」から考える– 3. 日本の歌と音楽活動 –歴史・文化・心の伝承– 4. 高齢者と音楽活動 5. 音楽で育つ –障がい児と音楽あそび– 6. 集団における音楽活動 7. 音楽活動で必要なちょっとした(でも重要な)音楽技術 8. こころの病と音楽活動 9. 生きるよろこび –緩和ケアと音楽活動– 10. コミュニティーと音楽活動 11. ミュージシャンの音楽問題 12. あなたにもできる！ 音楽活動のらくらく評価 13. 失語症・失音楽症と音楽活動 14. 障害者への音楽活動 –音楽を通じての社会参加– 15. これからの音楽活動 					
<p>【テキスト】 田中 順子編著:『臨床が変わる！ イラストでわかる 目からウロコの音楽活動』三輪書店(2014)</p>					
<p>【参考図書】 なし</p>					
<p>【成績評価の方法】 受講態度(出席状況を含む)・その他：100%(リアクションペーパーの提出をもって出席とする。) 評価方法コメント：10 分以上の遅刻・早退は 3 回で欠席 1 回と見なす。</p>					